



著者プロフィール

片山由美子（かたやま・ゆみこ）

昭和27年（1952）千葉県生まれ。昭和54年より鷹羽狩行に師事し、作句を始める。平成2年、第五回俳句研究賞、平成6年、俳人協会評論新人賞を受賞。

句集に『雨の歌』（昭59）・『水精』（平1）・『天弓』（平7）・『風待月』（平16）・『季語別片山由美子句集』（平15）、評論集に『現代俳句との対話』（平5）・『現代俳句女流百人』（平5）、対談集『俳句の生まれる場所』（平7）、エッセイ集『鳥のように 風のように』（平10）、共著に『添削例に学ぶ俳句上達法』（平6）・『諳んじたい俳句88』（平17）などがある。

俳誌「狩」同人。俳人協会幹事。日本文藝家協会会員。青山学院女子短大外国文科非常勤講師。NHK文化センター講師。

〈評論『俳句を読むということ』より転載〉
〈2006年9月25日時点〉